



スクールリポート

▶ 学校教育課
☎23-3679

学校生活の
一コマを
紹介



「亀山地区の伝統に学ぶ」 心を紡ぐ絹糸の学習

亀山小学校



●カイコの世話をする児童



●機織りを地域の人から習う児童

亀山のシンボル「うしのけ山」の麓に、御糸神社とよばれ、毎年絹糸を伊勢神宮に奉納している由緒正しい神社があります。亀山小学校では、この伝統を引き継いでカイコや絹糸の勉強を既に10年近く続けています。

3年生は、総合的な学習でカイコを題材にしています。毎日餌となるクワの葉を採りに行くのが子どもたちの日課です。試行錯誤しながらカイコにとって最適な環境を見つけ、成長の様子を記録していきます。

また、絹糸を使った体験も行っています。6年生は夏休みに機織りに挑戦し、4年生から6年生の希望者が参加するクラブ活動で、色とりどりの布作りに取り組んでいます。どちらも地域のボランティアの方が丁寧に教えてくれるので、子どもたちはどんどん上達していきます。完成した作品は、卒業式に昇降口に並べられます。みんな、どんな作品が並べられるのかとても楽しみにしています。

カイコや絹糸の学習から、子どもたちは亀山の歴史を身近に感じています。今後も、地域の方と共に、先人から受け継いできた伝統を大切に守って欲しいと思います。



「本物の音楽に親しむ」 文化芸術を愛する心を育てよう

童浦小学校

今年度、童浦小学校では、本物の音楽の素晴らしさを実感する機会が2回ありました。

1回目は、市教育委員会と愛知県芸術劇場・(一財)地域創造との共催による公共ホール音楽活性化アウトリーチ事業です。5名のプロの演奏家が、4年生に木管五重奏のミニコンサートを開いてくれました。フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、ホルン、それぞれの楽器の音色や特徴などを分かりやすく教えてくれたり、子ども達がよく知っている曲をさまざまに編曲して聴かせてくれたりしました。

2回目は、全校児童と保護者を対象にした「チューバマンショー」の公演でした。チューバマンとユーフォマンの2人組(プロの演奏家)は、チューバ星からやってきて、音楽を通して地球の人々を幸せにしてくれます。

この時は、世界中のいろいろな音楽のスタイルを取り入れた曲を演奏したり、楽器で動物の鳴き声を吹いてくれたりしました。さらに、音楽部との共演もあり、楽しく音楽への理解・親しみを深める機会となりました。



●それぞれの楽器の音色を聞く児童



●チューバマンと共演する音楽部の児童